

四国5大学連携女性研究者活躍推進シンポジウム2016
第8回中国四国男女共同参画シンポジウム共同開催
地域貢献！世界トップレベルの女性研究者誕生を目指して
報告

2016年11月18日に、徳島大学で四国5大学連携女性研究者活躍推進シンポジウム2016を開催しました。主催は、四国5大学男女共同参画推進連絡協議会の徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学です。第8回中国四国男女共同参画シンポジウムを共同開催し、徳島大学が担当しました。

高知大学は、高知大学における男女共同参画の取組について廣瀬淳一男女共同参画推進室長がポスターを紹介しました。



ポスター発表では、高知大学人文社会科学系人文社会科学部門の小島優子准教授が、「哲学分野における男女共同参画と若手研究者育成～日本哲学会の取組から～」について発表しました。共著者は、小島優子・和泉ちえ・飯田隆・池田喬・加藤泰史・河野哲也・小手川正二郎・森一郎・秋葉剛史・金澤修・直江清隆で、日本哲学会における男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループの取組について説明しました。



高知大学医療学系基礎医学部門微生物学講座の橋田裕美子助教は、「皮膚に常在するウイルスのエコロジー」についてポスター発表をしました。皮膚に常在しているさまざまな微生物についての、実体解析調査を行い、その結果からウイルスの検出率と年齢の関係について分析を行いました。

